

## アジア研究教育ユニット 令和3年度教育研究報告書

<b>事業課題名</b>	海外研究活動基金 KUASU Challenge+
<b>代表者名</b>	経済学研究科 久野秀二
<b>事業概要 (600字程度)</b>	<p>経済学研究科・博士後期課程の陸揚さんの「アグリナジカン」プロジェクトへの参与調査とワーカーへのアンケート調査を支援したこの調査は、今まで経済的な視点でしか評価されてこなかったソーシャル・イノベーション事業の評価標準を構築し、こうした取組みが日本農業・農村の振興に対しても重要な示唆を与えうることを明らかにすることを目的とするものだった。</p> <p>陸さんの博士論文の課題は、現在、日本社会が直面している様々な危機を解決しようという目標を持つソーシャル・イノベーション事業が農業・農村の持続可能な発展にもたらす新たな可能性を検討し、農村の振興に向けたこれからの課題を析出することにある。今回の調査はそのための事例研究のひとつである。</p>
<b>成果の概要 (800字程度)</b>	<p>調査の結果をふまえて二本の会議論文を完成し、以下のワークショップで発表した。</p> <p>①京都大学主催の' The Next-Generation Global Workshop (NGGW)' (2021年9月25-26日)          テーマ: Alternative Rural Sustainable Development Approach: A Case Study of Social Innovation Initiative, 'Time for Agri'</p> <p>②'Is rural Japan Sustainable? Past, Present and Future of Community-based Endeavors' symposium (2021年10月1-3日)          テーマ: Is Rural Japan Sustainable? Possibilities created by social innovation initiatives</p>